加古川市議会議員　落合誠（おちあいまこと）・柘植厚人（つげあつひと）
なんでもトークカフェ（広聴会）のご案内

日時：令和３年 12 月 19 日(日)14 時～16 時

場所：加古川市総合福祉会館２階大ホール（加古川町寺家町 177-12）

【どなたもご参加歓迎】【参加費無料】【事前申込不要】【出入自由】

第一部：議員と一緒に学ぶ(高齢者支援策について)　講師：長尾憲樹氏(兵庫大学教授)

長尾憲樹氏のご紹介：専門は健康体力科学。特定非営利活動法人元気寿命を創造する会 会長

※健康と体力に関すること、防災体力づくりについての講演と実践および、
低酸素トレーニングを得意とする教授です。

第二部：なんでもトークカフェ

今回のテーマは「高齢者支援策」等について、自由闊達に語り合う会です。

落合誠（おちあいまこと）と柘植厚人（つげあつひと）は、これまで定期的に「なんでもトークカフェ」を開催し、市民の皆様の切実なお声を市政に届ける努力を継続してきました。誰もが安心して結婚、出産、育児を行い、子供に十分な教育を与え、この地域で創意工夫して経済活動を行い、心豊かに人生を全うできる社会を創るため、皆様からいただいたお声を市政に反映できるように取り組んでまいります。

令和３年 10 月３日に広聴会を開催し、参加者の皆様からいただいた以下のご要望を意見書にまとめ市長に提出いたしました。

- 子ども支援の前提として、母親支援が必要である。母親を孤立させない社会であって欲しい。
- 社会全体、地域全体で育児を支える仕組み創りが求められる。
- 市民が主体的になって社会課題解決の取り組みができるような仕組み創りをして欲しい。
  そこに予算を配分して欲しい。その方が行政が主体となって行うよりも良い場合がある。
- DV 被害者や性犯罪被害者をさらに傷つけるような行政や司法の対応を是正して欲しい。
- 行政職員が市民に聞き取り調査をする際には、プライバシーの確保に十分配慮して欲しい。
- 父子家庭も本当に大変です。妻が亡くなり、夫が早朝から夜 10 時まで働きながら、家事育児も担っている家庭もあります。
- 子供食堂は、貧困でない家庭の子供にとっても大切な場所である。例えば両親が共働きで多忙のため孤独を感じている子供は少なく無い。したがって子ども食堂の更なる支援策の充実を望む。
- すべての行政手続きの簡素化を求める。書類作成があまりに大変で心が折れてしまいそうになる。
- 妊娠届の記入事項について、女性のプライバシーや心情に配慮して欲しい。
- 高齢者へのタクシーチケットの配布や公共交通の充実を求める。
- 市民協働推進事業の初回の提出書類などの簡素化やプレゼンのレベルを下げることを求める。
- 市民が参加できる事業の PR をもっと十分に周知徹底して欲しい。

加古川図書館内覧会に参加させて頂きました。

加古川図書館が駅前のカピル 21 ビル６階に開設されました。
開館時間は午前 10 時から午後８時（日祝は午後７時）です。休館日は第４月曜日です。
おはなしの部屋、授乳室、学習・ワークスペース、セミナールームが完備されています。
緑と木目を基調とした美しい空間です。
駅前に静かな本の森ができたことを嬉しく思います。　以上

加古川市議会　〒６７５－８５０１　加古川市加古川町北在家２０００　ＴＥＬ０７９－４２７－９３０３